

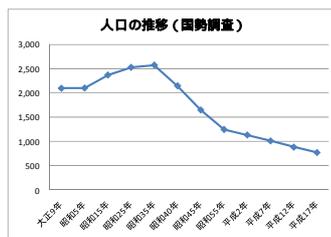
モデル事業名	地域と行政の協働で移動手段確保により地域づくりの活動支援事業
活動団体名	日南町自治協議会
ホームページ	http://www.town.nichinan.tottori.jp/
所属/ 担当者名	日南町役場企画課 浅田 雅史
連絡先	電話：0859-82-1115 E-mail：asada@town.nichinan.tottori.jp
活動地域	日南町多里地域

活動地域の概要

- 位置** ・日南町の南西端に位置する。 ・広島県 島根県境に面している。
- 地域構成** ・5つの自治会からなる。（多里・新屋・萩原・上萩山・湯河）
- 人口** ・昭和35年をピークに下降してきている。 高度経済成長期にあわせ県外に流出
ピーク時 2,566人(S35年国調) 現在は 768人(H17年国調)
高齢化率 52.6%
- 地域資源** ・クローム鉱山・若松鉱山(湯河) 近代化産業遺産群続33選に認定 広瀬鉱山(新屋)
・オオサンショウウオ・国指定特別天然記念物 平成21年10月に全国大会を開催
・船通山・ヤマタノオロチ伝説 かたくりの花 イチイの木
・ノジュール群・砂岩や泥岩の中に、砂や泥が周囲の母岩より固い球状の団塊となって含まれるもの
・伝統芸能・・・花田植え かしらうち



【位置図】



【人口の推移】



【過疎地有償運送ルート図】

活動地域の課題

- ・多里地域は高齢化率も非常に高く、地域を支える力が弱まり地域住民全体に大変負担を感じる
- ・高齢化が進み、自動車を運転することのできない年代層が増加してきている。
- ・多里地域での生活が困難な状況にある。
- ・公共交通については「利便性に欠け負担・不満を感じている」「これから先10年後20年後、自家用車を運転できなくなる多くの年齢層の生活」を守る地域システムの必要性
- ・平成21年4月、地域から小売店舗が無くなり、買い物に対する不安が大きくなってきている

活動の内容

- ・平成20年度
 - 地域ニーズを把握するために、実態調査(アンケート調査)を実施
 - 多里地域対象に400人抽出 回収率 45.75%
 - アンケート内容
 - ・買い物、通院の状況について
 - ・公共交通について
 - ・過疎地有償運送について

ボランティア輸送の実施

平成20年10月から平成21年3月まで実施

NPO 法人設立の準備

平成21年3月設立に向け準備。3月に法人登記を行い会員は193人

活動の成果

・平成20年度

アンケート調査、無償運送（試験運行）を行い、平成21年4月からスタートするNPO法人過疎地有償運送のためのニーズ調査を行うことができた。

期間：平成20年10月～平成21年3月

稼働回数：29回

延べ乗車数：81人



ボランティア輸送の様子

調査を行った結果、運行範囲の設定（ルート設定）、運行時間の設定の検討材料とすることができた。

平成21年4月から過疎地有償運送をスタート

- ・日南町から10人乗りワゴン車を無償貸与
- ・平日のみの運行で、地域から20km離れた町の中心地まで往復運行している。1回500円の運賃。1日3便（土日を除く）
- ・1月末までの実績
延べ利用者数 638人 運行日あたりの平均乗車数 3.11人

今後の課題及び展望

・課題

（平成20年度末時点の課題）

アンケート調査を行った結果を受けて、過疎地有償運送の運行形態を平成21年4月にスタートするために決めなければならなかった。

運営母体の早急な体制作り。運転手の確保等が必要であった。

・展望

（平成22年2月時点の展望）

現在、NPO法人の運営による過疎地有償運送を行っているが、さらなる利便性の向上に向け時間の再設定、運行地域の拡大をしていくためのニーズ調査が必要。

地域住民の足としての取り組みはできたが、地域商店の新たな形づくりが必要。